

薩南海岸県立自然公園の新規指定

1 指定の背景

枕崎市の赤崩鼻から南九州市頰娃町郡に至る海岸と標高466mの孤立峰の大野岳で構成される地域では、どこからも開聞岳を眺望することができます。

この山は、古来船舶の航行の重要な目印であり、薩摩富士または海門とよばれる美しい姿をしています。番所鼻自然公園から開聞岳を望む眺望は、天下の絶景として伊能忠敬が称賛した風景とも言われています。

これらの景観は阿多カルデラの火山活動によって形成されたものであり、海岸は火砕流堆積物と浸食作用によって県内でも珍しい特異な地形を有しています。浸食の結果形成された砂浜や河口干潟はウミガメの産卵地や希少生物の生息地となり、多様な自然環境を有しています。

また、生産性の悪い土地を改良した一大茶畑、二次林を利用した鰹節の生産、農地を守るための防潮・防風林など、火山活動や厳しい自然環境と向き合ってきた人々の営みの結果が日常の風景にあります。

今回の新規指定は、「生物多様性鹿児島県戦略」（平成26年3月策定）の戦略的取組の一つとして実施してきた県立自然公園総点検の結果を踏まえ、当該地域を「薩南海岸県立自然公園」として新規指定を行うもので、県立公園の新規指定は、平成4年のトカラ列島県立自然公園の指定以来29年ぶりとなります。

2 指定のポイント

風景型式：火山活動と浸食作用によって形成された特異な地形・地質及び多様な自然環境、さらにその恩恵を授かる一方で、厳しい環境に対しても向き合ってきた人々の営みがつくり出した日常の風景

景観要素：環状岩礁、波食棚、砂浜、河口干潟、茶畑、鰹節燻製の香り、防潮・防風林、海岸風衝林、クロマツ林

テーマ：火山が生んだ海岸地形と人々の営みと自然がもたらす里地・里山・里海風景 ～伊能忠敬が称賛した天下の絶景～

3 新規指定の詳細

(1) 公園区域 陸域：489ha、海域：4,431ha

【陸域：489ha】

阿多カルデラの火山活動による火砕流堆積物が、浸食作用によって形成された多様な自然景観を有する海岸部とその背後の自然林や二次林、また、沿岸に連続的に分布する防潮・防風林とそれに守られた農地を一体的に公園区域とします。さらに優れた眺望景観が広がる大野岳山頂と茶畑が広がる裾野一帯を公園区域とします。

【海域：4,431ha】

多様な自然景観を有する海岸部の緩衝帯及び海岸部から見る開聞岳の眺望の保護として、特別地域の沖合1km及び釜蓋神社から開聞岳を見透す線の陸側の海域を公園区域とします。

(2) 保護規制計画

【海岸（第2種特別地域：104ha）】

海岸の良好な風致景観を維持するため、特異な海岸地形とその背後の樹林帯及び砂浜海岸を一体的・連続的に保護します。

【大野岳（第3種特別地域：28ha）】

大野岳全体の良好な風致景観を維持するため、常緑二次林や二次草原を主体とする市有林を保護します。

(3) 利用施設計画

【海岸】

各展望場所から開聞岳、特異な海岸地形、茶畑などの風景鑑賞、海岸沿いの散策や自然観察、神社参り、海遊びやマリンスポーツによる利用促進を図るものとします。

【大野岳】

展望所からの風景鑑賞、神社参りによる利用促進を図るものとします。

【単独施設】

- ・南九州市穎娃町郡 園地2カ所 大野岳公園，瀬平公園
- ・南九州市穎娃町別府 園地2カ所 戸柱公園，番所鼻自然公園
- ・南九州地知覧町塩屋 園地1カ所 御茶屋の場公園
- ・南九州市知覧町南別府 水泳場1カ所 松ヶ浦シーサイドパーク

【道路】

- ・南九州市穎娃町郡 1路線（車道） 南九州市道
- ・南九州市穎娃町郡 1路線（歩道） 大野岳山頂線
- ・南九州市穎娃町別府 1路線（歩道） シーホーウォーク

【参考】薩南海岸県立自然公園の面積（ha）

地種区分	陸域	海域
第2種特別地域	104	
第3種特別地域	28	
普通地域	357	4,431
合計	489	4,431

【担当課】自然保護課
課長 宮澤 泰子
電話：099-286-2610(直通)

薩南海岸県立自然公園 公園区域

